

原稿投稿に関するガイドライン

2024年3月15日更新

原稿を投稿する際は、その原稿が既に出版されていないこと(ただし、要約形式、または出版された講義や学術論文の一部としての場合を除く)、他のジャーナルへの投稿あるいは公開が検討されていないこと、その出版行為がすべての著者によって承認され、その研究が実施された組織の担当者によっても黙示的に又は明示的にその原稿の投稿を承認されていることを意味します。

尚、過去にプレプリントサーバにて公開されたことのある原稿の投稿については受け付けます。(例:Jxiv、arXiv、bioRxiv、Nature Precedings、Philica、Social Science Research Network、Vixra) 過去に学術会議で発表されたことがある、または、以前にジャーナル以外の他の媒体(ブログやポスターなど)に掲載されたことがある場合も受付が可能です。

著者は、一度アーカイブされたプレプリントを発表する場合、公開があったジャーナル(デジタルオブジェクト識別子: DOI を含む)に、発表時、その論文が掲載されているジャーナルウェブサイトの適切なハイパーリンクを明記する責任があります。

論文の著作権は著者が保持し、最初の出版権はジャーナルに付与されます。著者は、公開後に自分の記事を再利用、再発行、アーカイブ、および配布する権利があります。ジャーナル/出版社は、作品のその後の使用について責任を負いません。著者は、出版社が論文に DOI を適用し、J-Stage、EBSCO、DOAJ、ProQuest などのデータベースや索引にアーカイブすることを許可するものとします。

出版社と当ジャーナルは、剽窃を一切容認しない方針に従います。剽窃防止ツール(iThenticate)と査読レビューの2つの方法でチェックします。すべての提出物は、査読者に送信される前に iThenticate によってチェックされます。

原稿は Microsoft Word 形式で作成し、電子メールで提出してください。編集者は、すべての投稿を編集または変更する権利を留保しますが、著者は公開前に承認のため、校正刷りを受け取ります。

ご不明な点がございましたら、ジャーナルの編集者にお問い合わせください。

1. 発表までの手順

- a) 投稿受領のご連絡として、編集者は1〜3営業日以内に投稿元の著者に確認の電子メールを送信します。この確認メールが届かない場合は、送信メールが届いていない可能性がありますのでご注意ください。
- b) ピアレビュー。査読には二重盲検システムを使用しています。審査の工程には4週間から10週間かかる場合があります。
- c) 審査結果のメールによる通知
- d) 投稿が受理された場合、著者はそれに応じて必要があれば修正し、記事処理料(フォーマットとホスティング)を支払います。手数料が免除された場合は、通知に「0」と表示されます。
- e) 論文のPDF版は、ジャーナルのウェブページから無料でダウンロードできます。
- f) 必要であれば、著者に無料で原稿の印刷コピーをご提供致します。無料の印刷コピーが必要な場合は申請書にその旨を記入してください。

さらに、ジャーナルの電子書籍を著者向けに無料でPDF形式にてご提供します。こちらは印刷版と同等品です。

2. 原稿の採択

以下の手順に従って原稿を審査し、採択します。

手順 1: 基本審査

編集者または編集アシスタントは、受領した原稿をチェックし、ジャーナルの目的とスコープに沿った内容であるかどうかを判断します。ジャーナルのスコープ範囲外の内容の原稿は受理不可となります。他の出版物又はウェブサイトにも原稿の全文または一部が掲載された場合は、査読も受理もされません。

手順 2: 類似性審査

投稿されたすべての原稿に剽窃がないか審査しますので、ご注意ください。類似性チェックは先進的剽窃検出システムである iThenticate を使用して、過去に公開された文書との類似性をチェックします。自己剽窃を含む剽窃、および不正が見つかった原稿はすべて不可とします。

手順 3: 査読

査読には二重盲検査読を使用しています。査読者と著者の身元は匿名のままです。投稿された原稿は、編集スタッフ 1 名と外部査読者 1〜3 名の計 2 名以上の専門家によって審査されます。これにより、査読審査の工程には 4 週間から 10 週間かかる場合があります。まれに、編集者や査読者からの助言により、2 回目の査読が実施されることがあります。審査結果のサンプルをご参照ください。

手順 4: 採択/不採択の決定

査読者が審査により採点した平均スコアに基づき、その論文が採択されるかどうかが決まります。査読者は、提出された原稿を 5 段階評価します。出版が採択されるためには、原稿が 2.5 以上の平均スコアを取得する必要があります(一部のジャーナルではより高いスコアが必要です)。ただし、スコアが 2.5 点以上であっても、編集者または査読者が出版や発表に適さないと判断した場合には、不採択とすることがあります。

3. 一般必要事項

3.1 ジャーナルのスコープ

論文はジャーナルのテーマと一致していなければなりません。ジャーナルのテーマ、スコープ範囲外の場合は査読致しません。

3.2 言語と算用数字

原稿は適切な日本語を使用し、英語でのタイトル、要旨、キーワード、著者情報を記載してください。数字を書くときは、小数点を表すためにカンマではなくピリオドを使用し、小数点の左側または右側にあるかどうかにかかわらず、数字が 5 桁を超える場合には 3 つのグループに区切るため、スペースで桁区切りを入れるようにします。(例えば、1000.4718 は 10 000.471 85 となります)

3.3 原稿の長さ

原稿は 3,000〜8,000 語を目安とします。

4. 原稿の準備

著者向けの MS-Word テンプレートを用意しました。原稿作成にぜひご活用ください。

原稿には、次の事項を記載する事。

4.1 タイトルページ

タイトルページには、以下の項目を含めるものとする。

日本語表題(日本語)

サブタイトル (必要な場合、日本語)

著者名 (日本語)

著者の所属機関 (日本語)

責任著者：著者名、連絡先及びEメールアドレス (日本語)

論文投稿詳細と DOI：これについて、著者は変更をしないこと。編集部員が手続きします。

4.2 本文

見出しは3段階以内にして下さい。

提示した MS-Word のテンプレートに従って下さい。

誤字脱字や文法上の誤りがないかどうか確認して下さい。

文章のスタイルやフォーマットは原稿を通じて一貫していることを確認して下さい。

使用された引用・参考文献がすべて正しく記載されていることを確認して下さい。

5. 引用・参考文献の示し方

当ジャーナルでは APA スタイル (第7番) を使用します。APA スタイルはオンラインリソースや DOI システムも使いやすく、学術界で最も使われる引用・参考文献を示すスタイルの一つです。

以下、ご参考までに、いくつかのサンプルを MS-Word にてご提供差し上げます。